

第2号 発刊に寄せて

本別町教育委員会教育長 高橋 哲也

「総合的な探究の時間」は、変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目標に高等学校における新学習指導要領に新しく創設されたものです。

本来であれば令和4年度からのカリキュラムにて実施されるところ、本別高等学校は、先見の明によりいち早く先駆けてこれに取り組まれてきており、真摯にこの授業に向き合っている生徒の皆さま始め、日頃より熱心にご指導を頂いている教職員の皆さま、そして様々な立場でご助言、ご支援を頂いている企業・関係者の皆さまに深く敬意を表するものであります。

この間、取り組まれてきた成果については、学校内における成果発表、そして本別町議会における模擬議会形式による事業提案と質疑応答、また、町民の皆さま、地域の皆さまを対象に「とかち創生学の日」の開催がされ、更には、この度、令和3年度2学年総合的な探究の時間「とかち創生学」研究論文も時期を同じく発刊されることにより、これまで取り組まれてきたことを一層幅広く知って頂く機会が拡充されるに至ることとなりました。

これまでの研究テーマは、いずれも本別町に暮らす住民にとって、また、経済活動を伴う企業・事業者にとっても密接に関連するものであり、問題・課題の掘り起こしから解決に向けた考察・提起といった一連の流れは、高校生目線に留まらず、地域愛、郷土愛に溢れるもので、これらの成果を聞くもの、見るものにとっても今後の地域活動、まちづくりに際し大変重要かつ有意義なものであると感じております。

生徒の皆さまにおかれましては、この貴重な取り組み経過で体得したものを一過性のものとせず、どうか所期の目的にあった自己の資質・能力向上のため、日頃の学習活動や部活動等においても分析と課題設定、試行錯誤を繰り返しながら自己実現と自身の発信に努めて頂きたいと思います。

本別高等学校における「総合的な探究の時間」は、その活動内容はもとより、商品化、製品化に見られるような事後における発展成果に関しても大きな注目と評価を頂いているところであり、これからも先駆者として生徒の主体的課題解決能力の向上と地域の発展、地域人材の育成に大きく寄与していただきますことをご期待申し上げる次第です。

また、町民の皆さま、企業・団体におかれましては、本町地域の発展と経済の振興、そして何より本別町の知名度向上と発信に大きく寄与されているこの本別高等学校の取り組み、活動に対し、多大なるご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げ、本研究論文発刊に際してのご挨拶といたします。

令和5年3月